

鞍手町
子ども・若者の意識と生活に関するアンケート
報告書

令和7年3月

～目次～

I. 調査の概要.....	2
II. 調査内容.....	4
III. 調査結果.....	6
1. 基本属性.....	6
(1) 性別.....	6
(2) 年齢.....	6
(3) 小学校区.....	6
(4) 婚姻状況.....	7
(5) 同居家族.....	7
(6) 最終学歴.....	7
2. 職業について.....	8
(1) 職業について.....	8
3. 生計について.....	10
(1) 家庭の生計について.....	10
(2) 世間一般と比べた暮らし向き.....	10
4. 学校生活について.....	11
(1) 学校生活の満足度.....	11
(2) 学校生活で悩んでいることや心配していること.....	11
5. あなた自身について.....	12
(1) あなた自身について.....	12
(2) 自分が幸せだと思うか.....	13
(3) 孤独であると感じることの有無.....	13
6. 生活の状況について.....	14
(1) 落ち着く場所・居心地が良い場所.....	14
(2) 自宅で時間を使っていること.....	15
(3) 外出頻度について.....	15
7. 悩み・相談について.....	17
(1) 困っていること・悩んでいること.....	17
(2) 悩みごとを相談する相手.....	18
8. 将来について.....	19
(1) 将来への希望.....	19
(2) 結婚願望.....	19
(3) 子どもについて.....	20
9. 町の取組について.....	21
(1) 鞍手町で暮らし続けるために特に整える必要があると思う環境.....	21
(2) これから若者の生活がより良いものになるために鞍手町に必要な取組.....	22

IV. 調査の総括.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
1. 住まいの地域、子どもと家族の状況.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 保護者の就労状況、職場の両立支援制度.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
3. 教育・保育事業の利用.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 病気の際の対応.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
5. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	エラー! ブックマークが定義されてい
ません。	
6. 放課後の過ごし方.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
7. 子育て全般.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
V. 自由回答.....	24

I. 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

子どもや若者の意識や生活の実態等を把握することにより、今後の子ども・若者施策の充実に生かすとともに「(仮称) 鞍手町こども計画」策定の基礎資料とすることを目的として、子ども・若者の意識と生活に関するアンケート調査を実施しました。

2. 調査対象

16～29歳の町民 400件

3. 調査方法

郵送による配布・WEB回答

4. 配布及び回収数

配布数	有効回収数	回収率
400件	76件	19.0%

5. 調査期間

令和6年11月6日(水)～12月1日(日)

6. 集計分析上の注意事項

- ・集計は小数点第2位以下を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- ・複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶことができる方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対してのそれぞれの比率を示している。そのため、合計が100%を超える場合がある。
- ・図表中の「N」は各項目の集計対象者総数(回答者限定の設問の場合は、当該限定条件に該当する人)を示している。
- ・表、グラフに示す選択肢はスペースの関係で文言を簡略して表記している場合がある。

Ⅱ. 調査内容

Ⅱ. 調査内容

■子ども・若者の意識と生活に関するアンケート調査内容

項目	設問内容
1. 基本属性	(1) 性別 (2) 年齢 (3) 小学校区 (4) 婚姻状況 (5) 同居家族 (6) 最終学歴
2. 職業について	(1) 職業について
3. 生計について	(1) 家庭の生計について (2) 世間一般と比べた暮らし向き
4. 学校生活について	(1) 学校生活の満足度 (2) 学校生活で悩んでいることや心配していること
5. あなた自身について	(1) あなた自身について (2) 自分が幸せだと思うか (3) 孤独であると感じることの有無
6. 生活の状況について	(1) 落ち着く場所・居心地が良い場所 (2) 自宅で時間を使っていること (3) 外出頻度について
7. 悩み・相談について	(1) 困っていること・悩んでいること (2) 悩みごとを相談する相手
8. 将来について	(1) 将来への希望 (2) 結婚願望 (3) 子どもについて
9. 町の取組について	(1) 鞍手町で暮らし続けるために特に整える必要があると思う環境 (2) これから若者の生活がより良いものになるために鞍手町に必要な取組

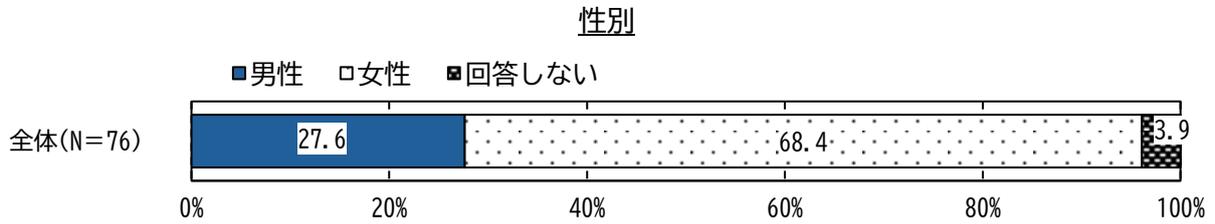
Ⅲ. 調査結果

Ⅲ. 調査結果

1. 基本属性

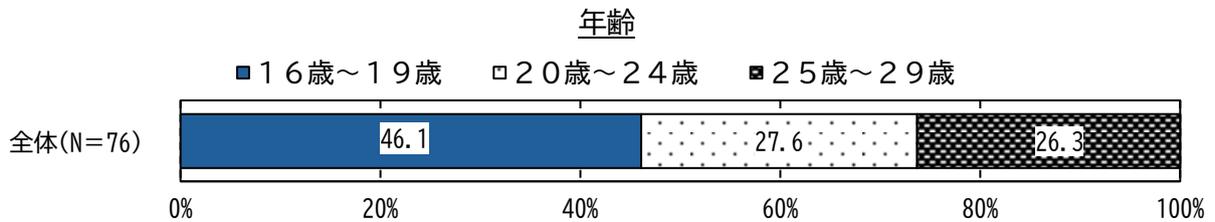
(1) 性別

性別について、「男性」が27.6%、「女性」が68.4%となっています。



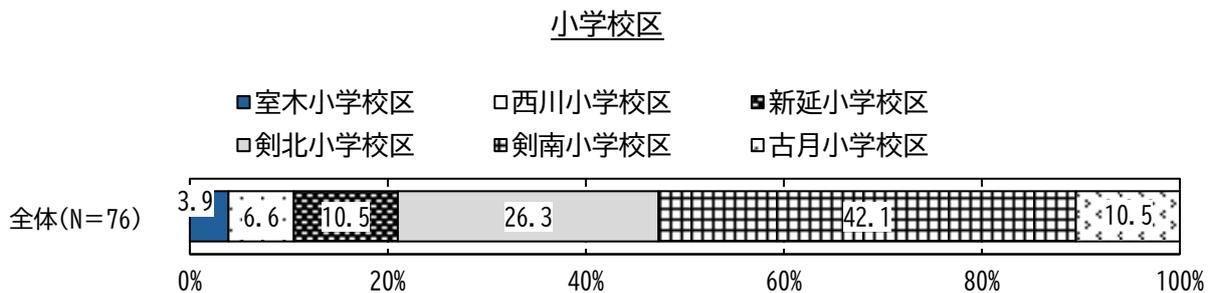
(2) 年齢

年齢について、「16歳～19歳」(46.1%)が最も多く、次いで、「20歳～24歳」(27.6%)、「25～29歳」(26.3%)の順となっています。



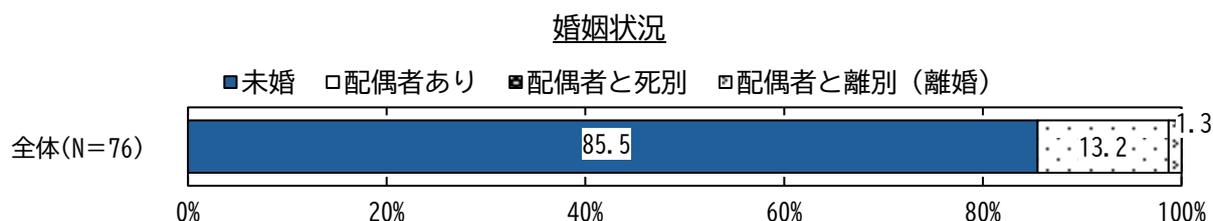
(3) 小学校区

住まいの地域(小学校区)について、「剣南小学校区」(42.1%)が最も多く、次いで、「剣北小学校区」(26.3%)、「新延小学校区」と「古月小学校区」(ともに10.5%)の順となっています。



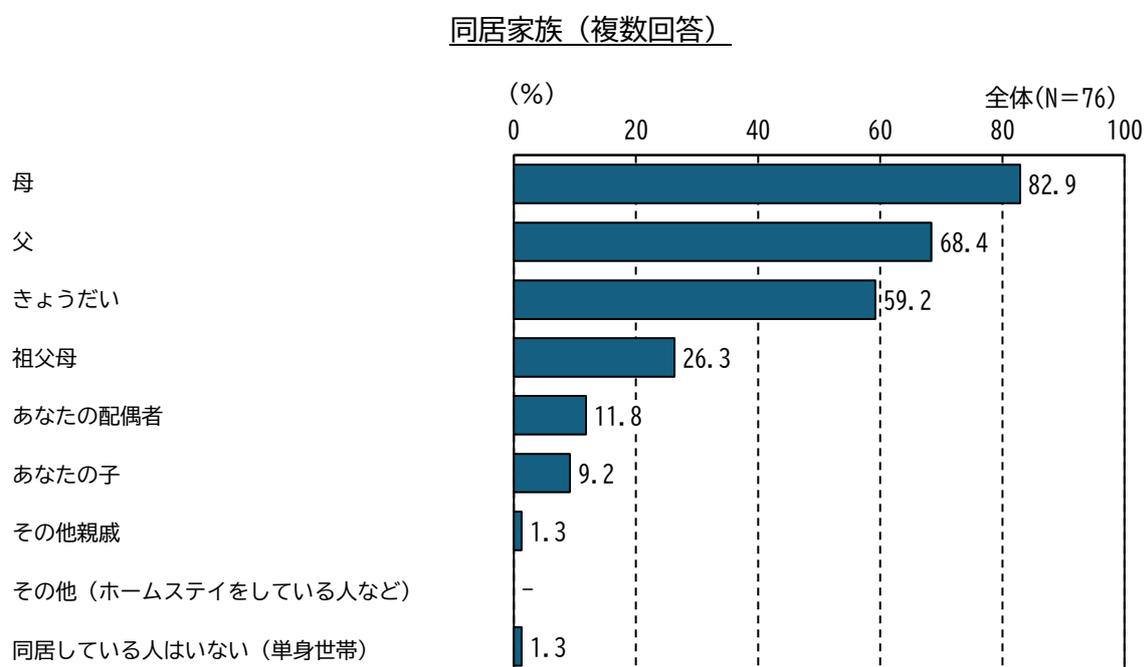
(4) 婚姻状況

婚姻状況について、「未婚」(85.5%)が最も多く、8割以上を占めています。



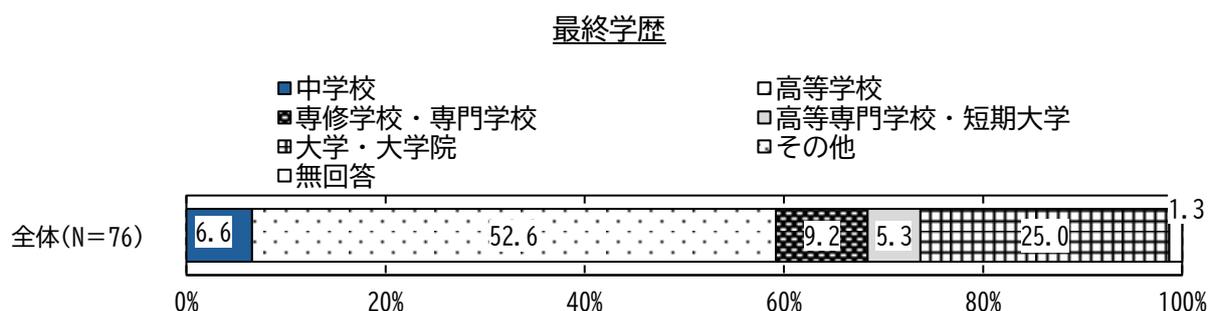
(5) 同居家族

同居家族について、「母」(82.9%)が最も多く、次いで、「父」(68.4%)、「きょうだい」(59.2%)の順となっています。



(6) 最終学歴

最終学歴について、「高等学校」(52.6%)が最も多く、次いで、「大学・大学院」(25.0%)、「専修学校・専門学校」(9.2%)の順となっています。

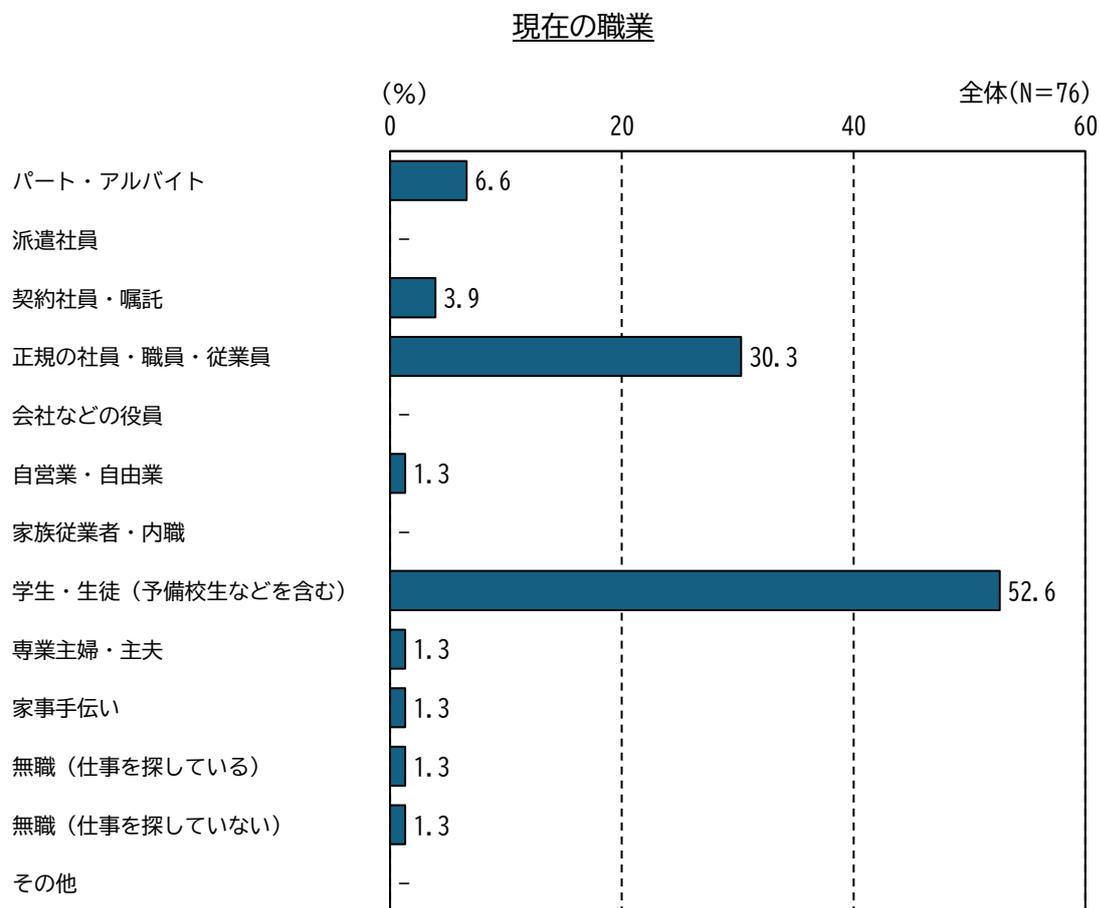


2. 職業について

(1) 職業について

①現在の職業

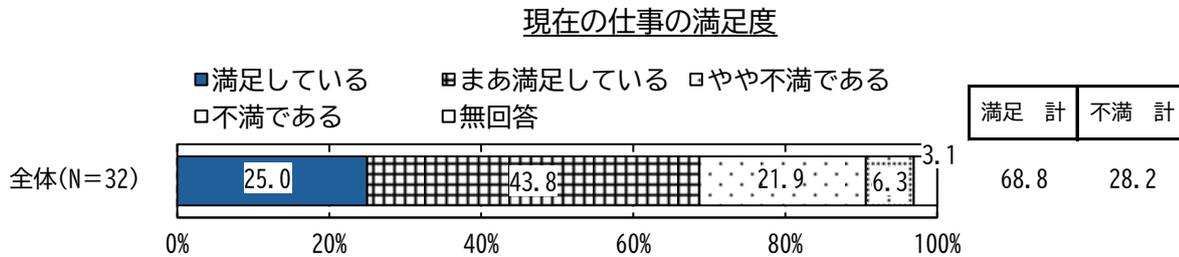
現在の職業について、「学生・生徒（予備校生などを含む）」（52.6%）が最も多く、次いで、「正規の社員・職員・従業員」（30.3%）、「パート・アルバイト」（6.6%）」の順となっています。



②現在の仕事の満足度

現在の仕事の満足度について、「満足している」(25.0%)と「まあ満足している」(43.8%)を合わせた『満足』の割合は68.8%となっています。

一方で、「やや不満である」(21.9%)と「不満である」(6.3%)を合わせた『不満』の割合は28.2%となっています。



③就職していない理由

就職していないと回答した人は4件と少なくっており、理由について、「家庭の事情」(2件)が最も多くなっています。

就職していない理由

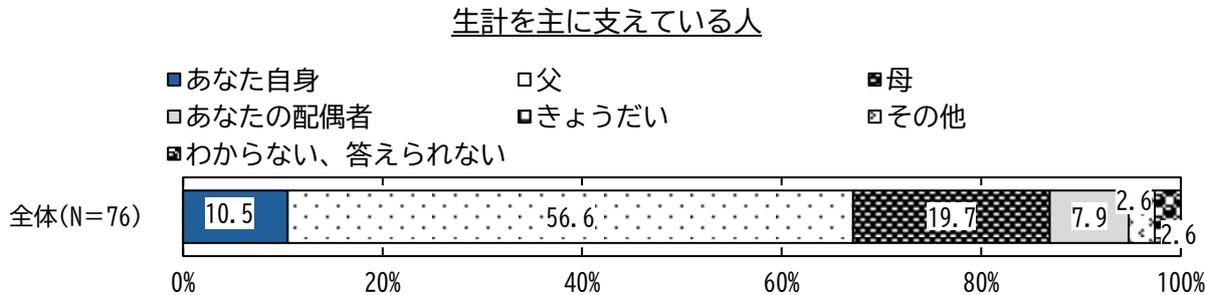
単位：件数	調査数	が自分につか らな仕事	なきたいか の求人につ	何らかの 仕事に意欲が	仕事をする 意欲が	働かなくても いいと感じ	家庭の事情	健康上の理由	その他
全体	4	1	-	-	-	-	2	1	-

3. 生計について

(1) 家庭の生計について

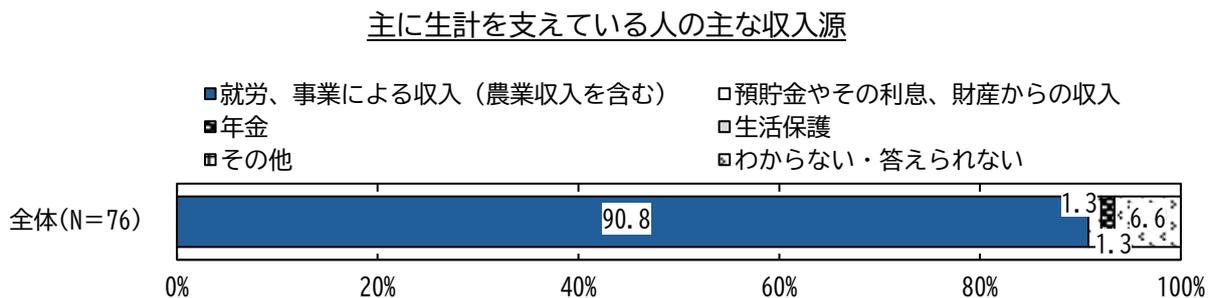
① 生計を主に支えている人

生計を主に支えている人について、「父」(56.6%)が最も多く、次いで、「母」(19.7%)、「あなた自身」(10.5%)の順となっています。



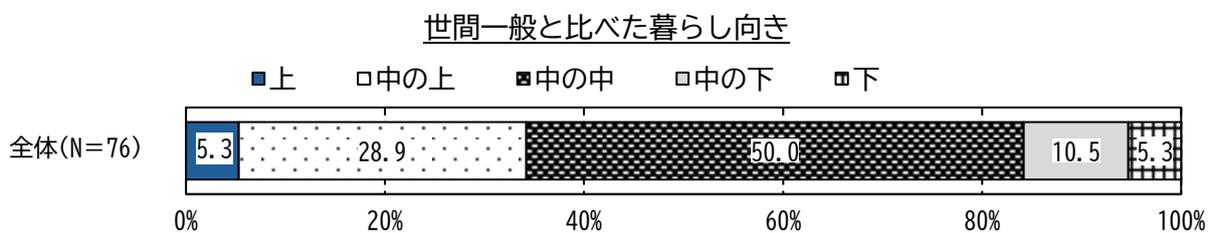
② 主に生計を支えている人の主な収入源

主に生計を支えている人の主な収入源について、「就労、事業による収入（農業収入を含む）」(90.8%)が最も多く、約9割を占めています。



(2) 世間一般と比べた暮らし向き

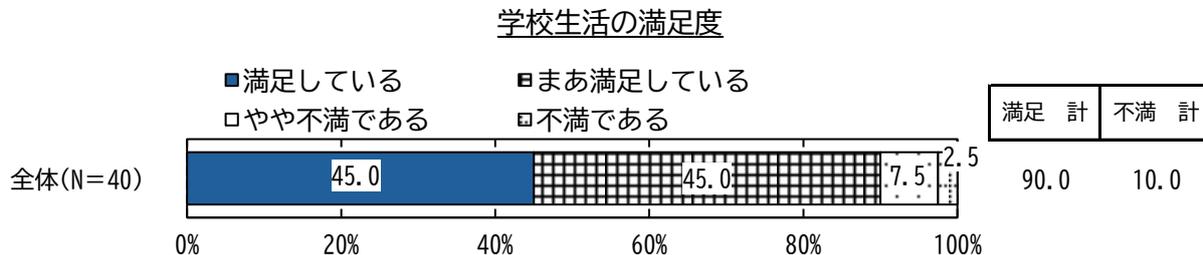
世間一般と比べた暮らし向きについて、「中の中」(50.0%)が最も多く、次いで、「中の上」(28.9%)、「中の下」(10.5%)の順となっています。



4. 学校生活について

(1) 学校生活の満足度

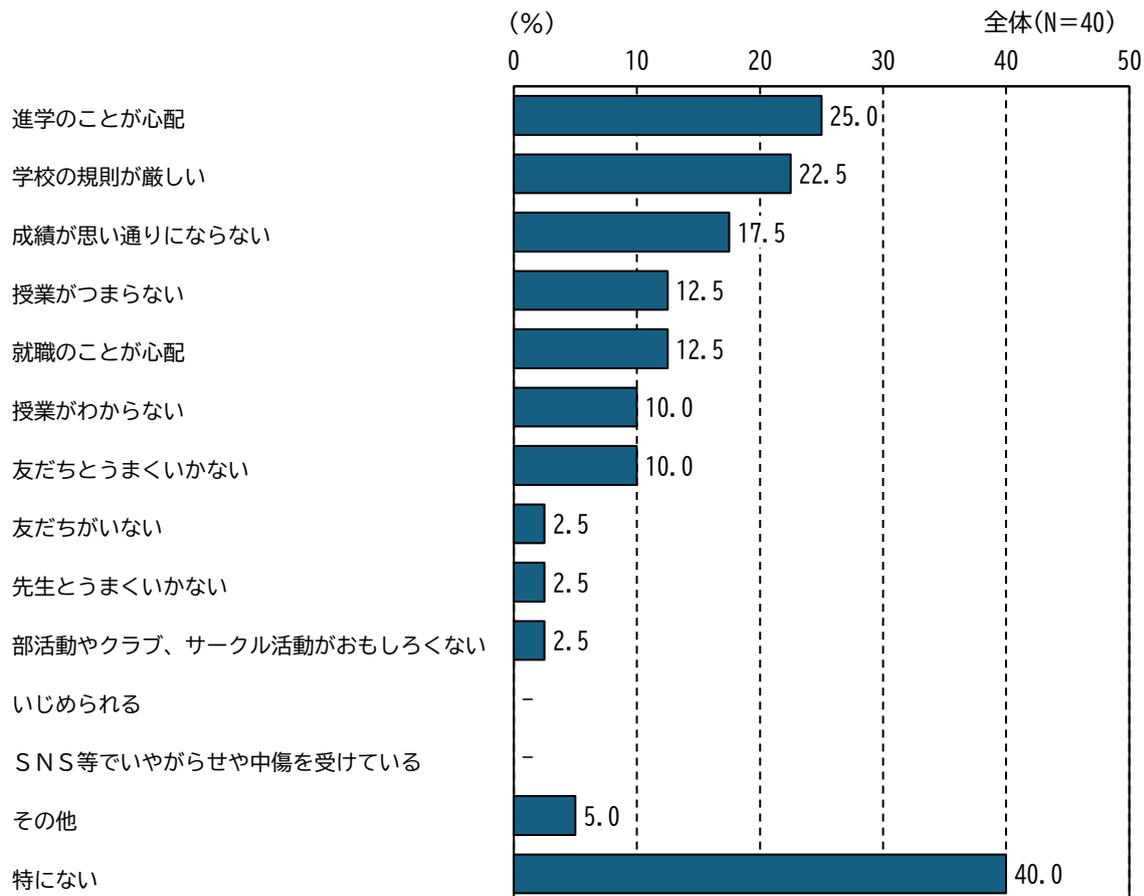
学校生活の満足度について、「満足している」(45.0%)と「まあ満足している」(45.0%)を合わせた『満足』(90.0%)の割合が9割を占めています。



(2) 学校生活で悩んでいることや心配していること

学校生活で悩んでいることや心配していることについて、「特にない」(40.0%)が最も多くなっています。「特にない」を除くと、「進学のこと心配」(25.0%)、「学校の規則が厳しい」(22.5%)、「成績が思い通りにならない」(17.5%)の順となっています。

学校生活で悩んでいることや心配していること (複数回答)



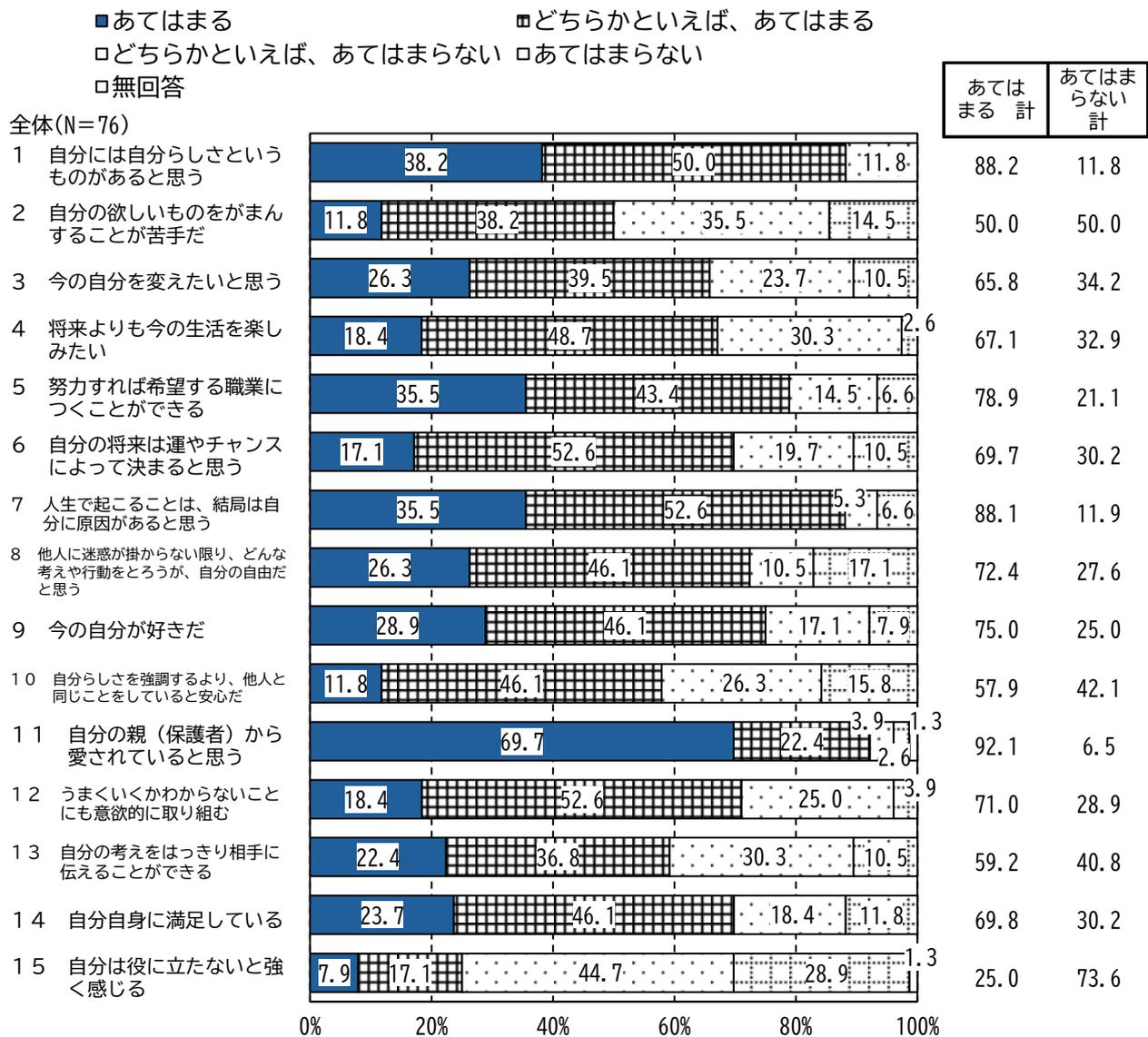
5. あなた自身について

(1) あなた自身について

あなた自身について、「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた『あてはまる』の割合は、「自分には自分らしさというものがあると思う」(88.2%)、「人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う」(88.1%)、「自分の親(保護者)から愛されていると思う」(92.1%)で9割前後を占めており、他の項目よりも多くなっています。

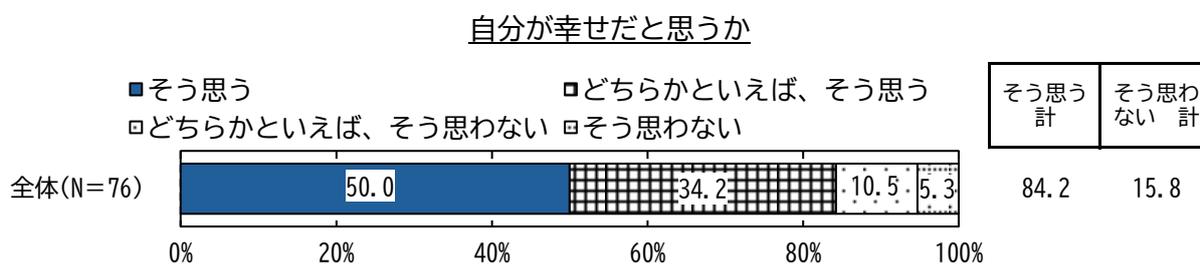
一方、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた『あてはまらない』の割合は、「自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ」(50.0%)、「自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ」(42.1%)、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」(40.8%)、「自分は役に立たないと強く感じる」(73.6%)で他の項目よりも多くなっています。

あなた自身について



(2) 自分が幸せだと思うか

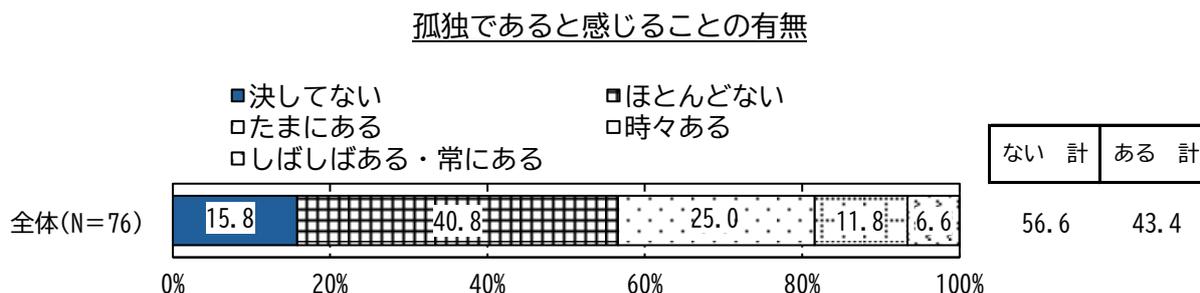
自分が幸せだと思うかについて、「そう思う」(50.0%)と「どちらかといえば、そう思う」(34.2%)を合わせた『そう思う』(84.2%)割合が8割以上を占めています。



(3) 孤独であると感じることの有無

孤独であると感じることの有無について、「決してない」(15.8%)と「ほとんどない」(40.8%)を合わせた『ない』割合は56.6%となっています。

一方、「たまにある」(25.0%)と「時々ある」(11.8%)と「しばしばある・常にある」(6.6%)を合わせた『ある』割合は43.4%となっています。

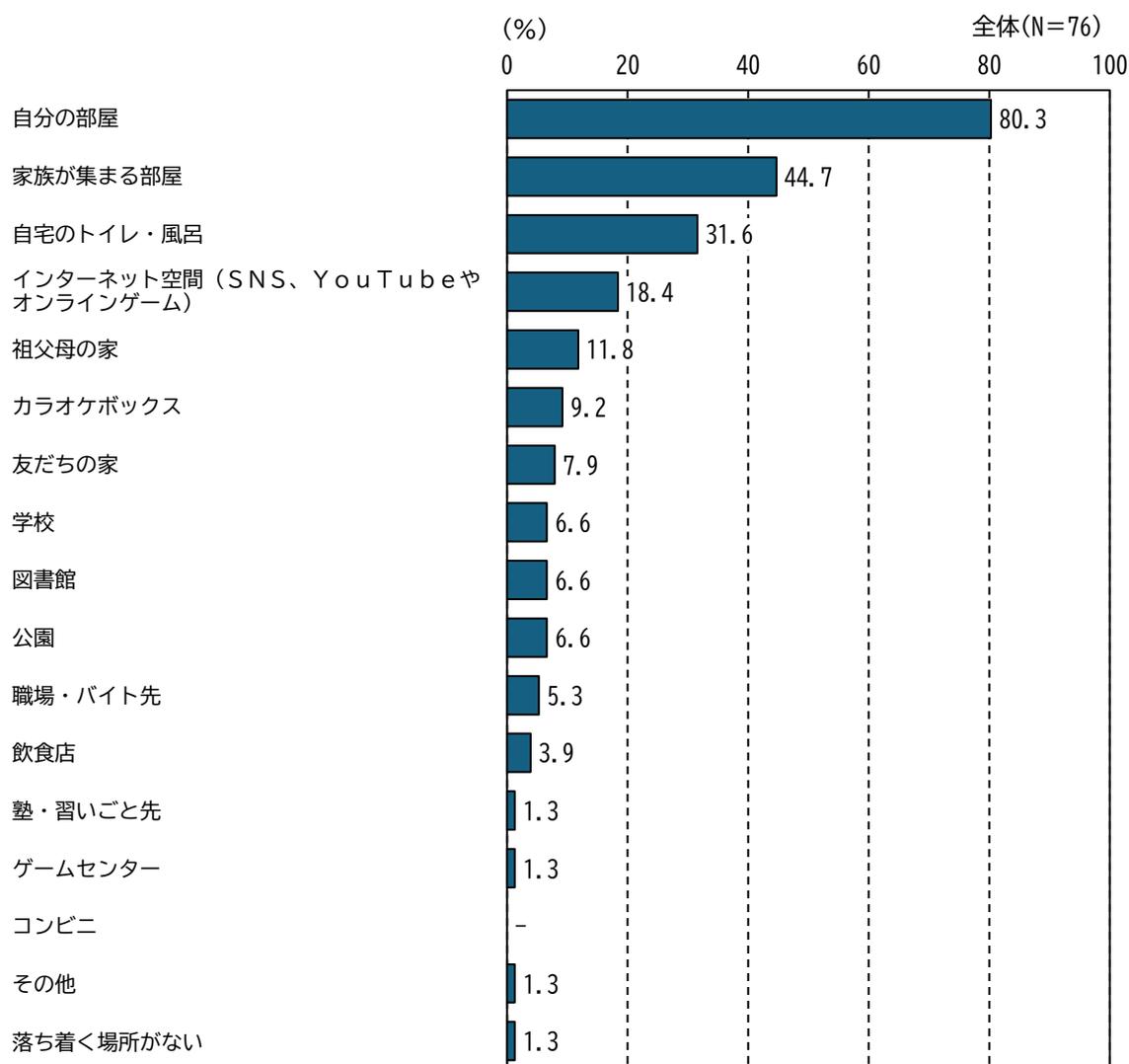


6. 生活の状況について

(1) 落ち着く場所・居心地が良い場所

落ち着く場所・居心地が良い場所について、「自分の部屋」(80.3%)が最も多く、約8割を占めています。次いで、「家族が集まる部屋」(44.7%)、「自宅のトイレ・風呂」(31.6%)の順となっています。

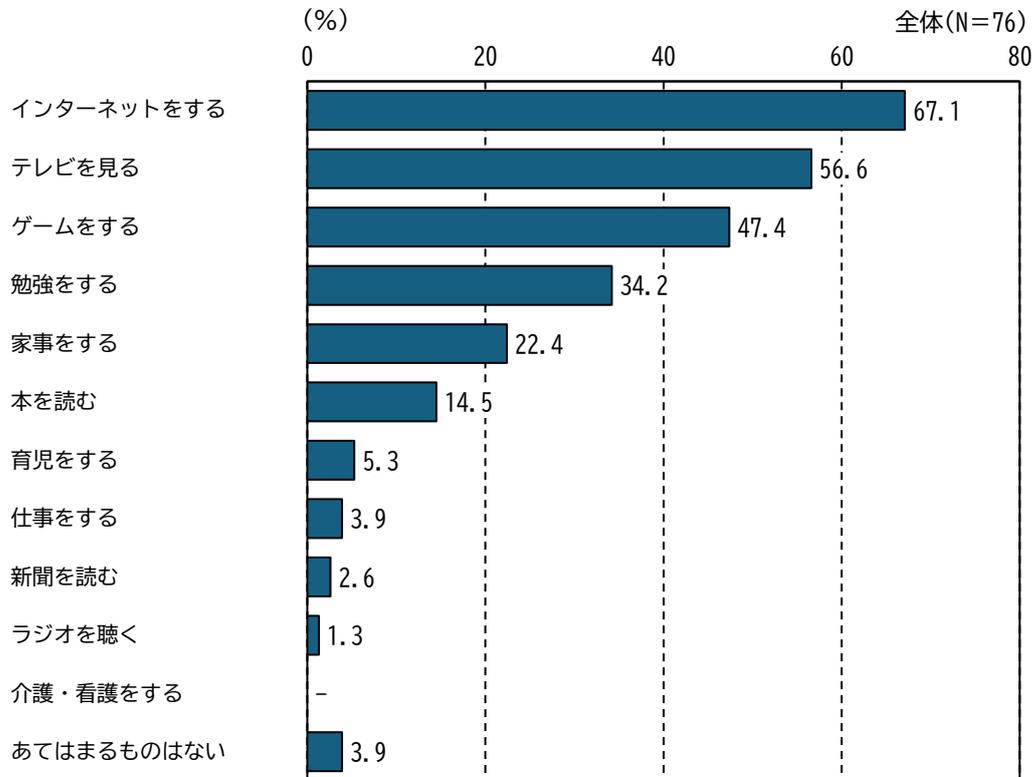
落ち着く場所・居心地が良い場所 (複数回答)



(2) 自宅で時間を使っていること

自宅で時間を使っていることについて、「インターネットをする」(67.1%)が最も多く、次いで、「テレビを見る」(56.6%)、「ゲームをする」(47.4%)の順となっています。

自宅で時間を使っていること (複数回答)

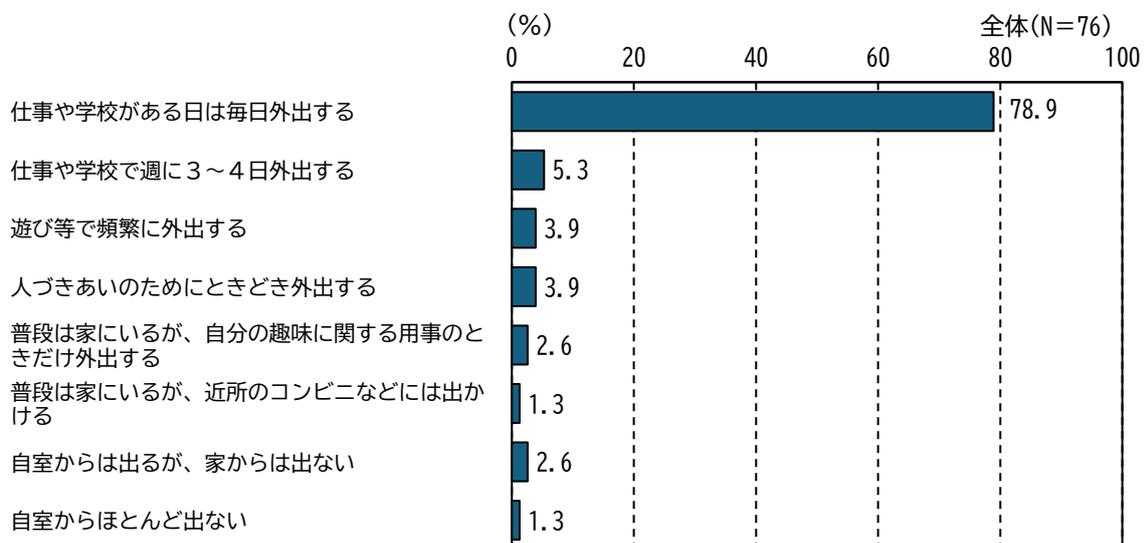


(3) 外出頻度について

①外出頻度

外出頻度について、「仕事や学校がある日は毎日外出する」(78.9%)が最も多く、8割弱を占めています。

外出頻度



②引きこもりになってからの期間

普段は家にいる・家から出ないと回答した人は6件となっており、そうなった期間について、「6か月～1年未満」（2件）が最も多くなっています。

引きこもりになってからの期間

単位：件数	調査数	6か月未満	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年以上
全体	6	1	2	1	1	-	1

③引きこもりになった時の年齢

普段は家にいる・家から出なくなった時の年齢について、「15～19歳」（2件）が最も多くなっています。

引きこもりになった時の年齢

単位：件数	調査数	14歳以下	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳
全体	6	1	2	1	2

④引きこもりになった理由

普段は家にいる・家から出なくなった理由について、「大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校」、「受験に失敗したこと（高校・大学等）」、「病気」（各1件）という回答になっています。

引きこもりになった理由

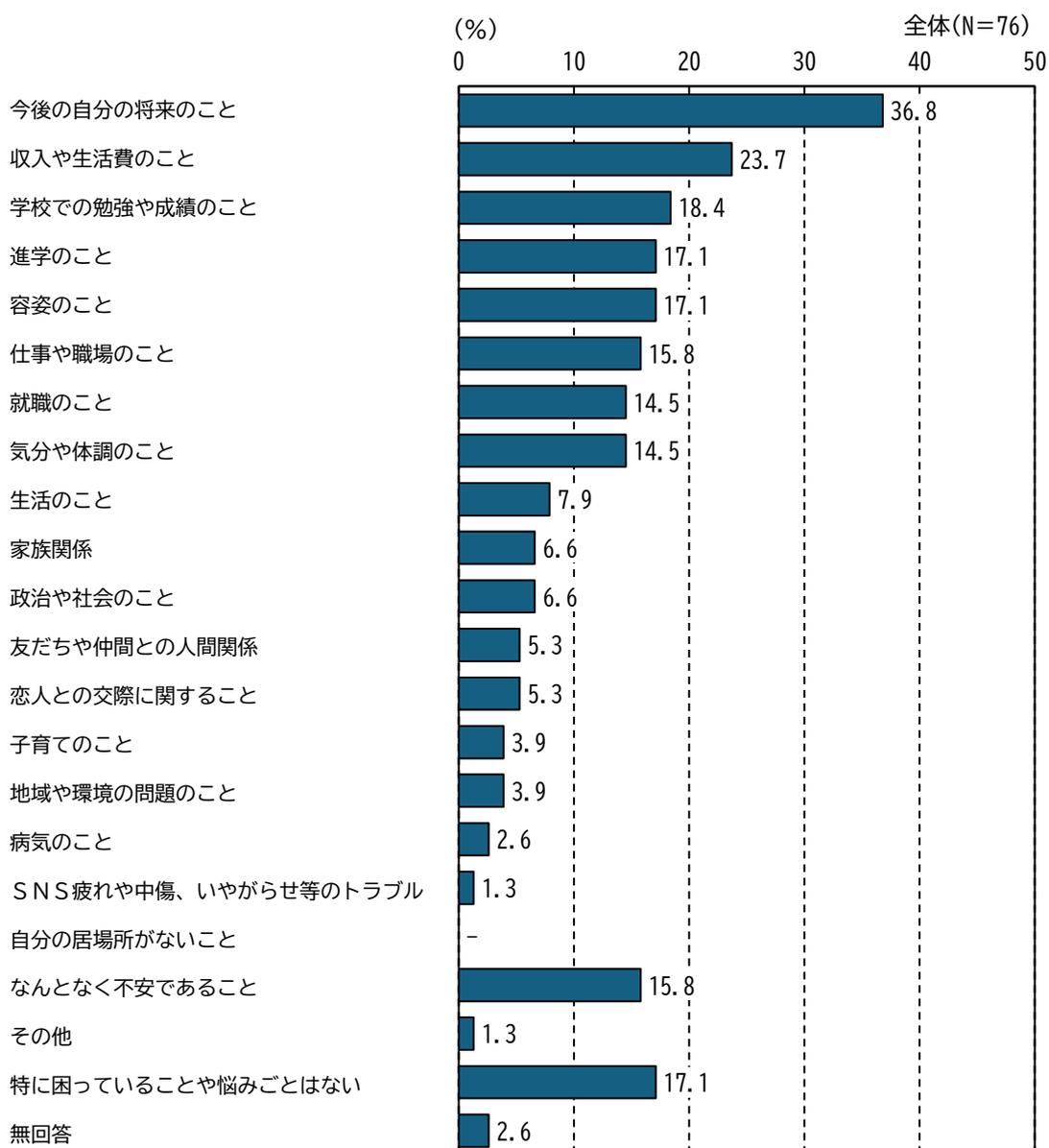
単位：件数	調査数	大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校	受験に失敗したこと（高校・大学等）	病気	小学校時代になじめなかったこと	小学校時代の不登校	中学校時代の不登校	高校時代の不登校	就職活動がうまくいかなかったこと	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかったこと	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになったこと	新型コロナウイルス感染症が流行したこと	その他	特に理由はない	わからない
全体	6	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-

7. 悩み・相談について

(1) 困っていること・悩んでいること

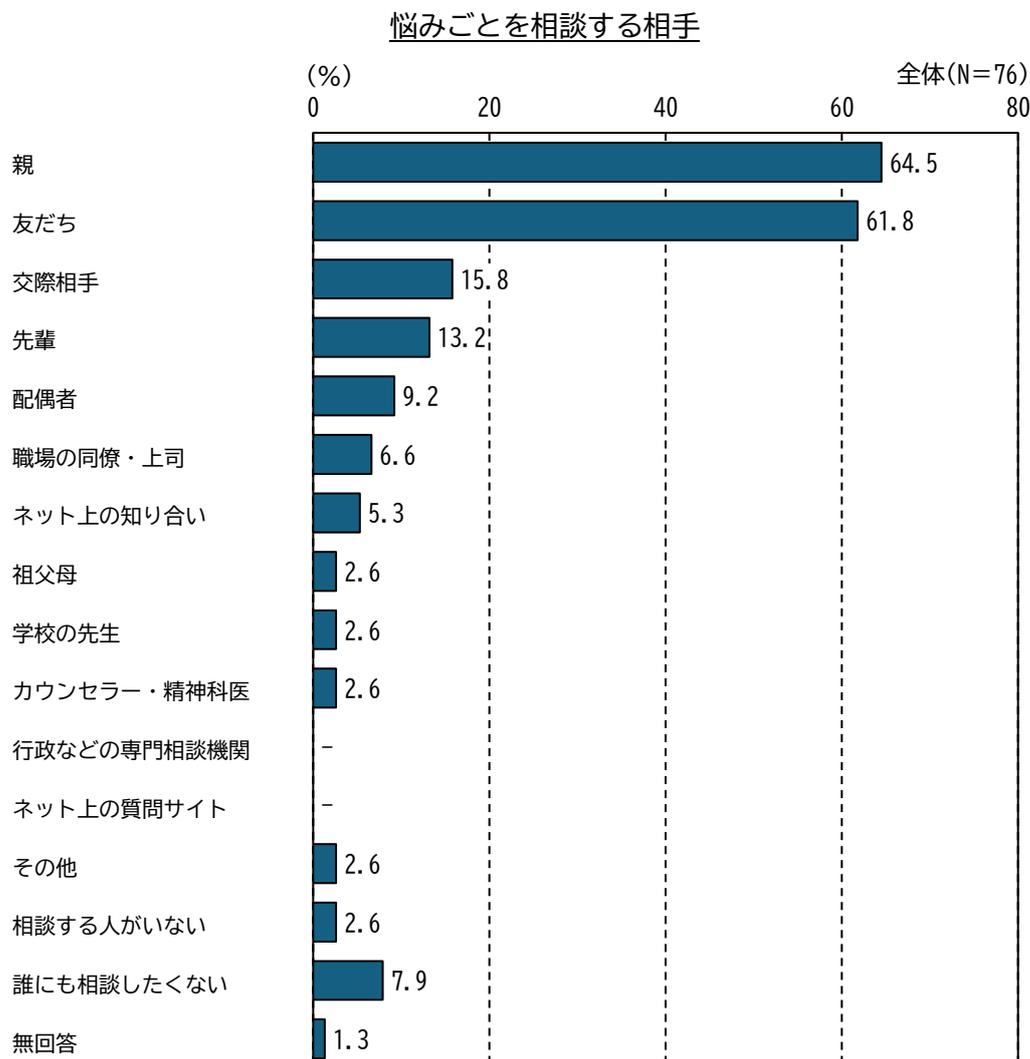
困っていること・悩んでいることについて、「今後の自分の将来のこと」(36.8%)が最も多く、次いで、「収入や生活費のこと」(23.7%)、「学校での勉強や成績のこと」(18.4%)の順となっています。

困っていること・悩んでいること (複数回答)



(2) 悩みごとを相談する相手

悩みごとを相談する相手について、「親」(64.5%)が最も多く、次いで、「友だち」(61.8%)、「交際相手」(15.8%)の順となっています。



④相談したくないと思う理由

悩みごとを誰にも相談したくないと回答した人は6件と少なくっており、理由について、「自分ひとりで解決すべきだと思うから」と「誰にも知られたくないことだから」(ともに2件)が最も多くなっています。

相談したくないと思う理由(複数回答)

単位: 件数	調査数	自分ひとりで解決するべきだと思うから	誰にも知られたくないことだから	相談しても解決できないと思うから	自分を変な人と思われだか	自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから	相手がどんな人かわからないから	何を聞かれるか不安に思うから	嫌なこと、できないことをするよう言われそうだから	相手にうまく伝えられないから	裏切られたり、失望するの嫌だから	お金がかかると思うから	その他	特に理由はない、わからない
全体	6	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2

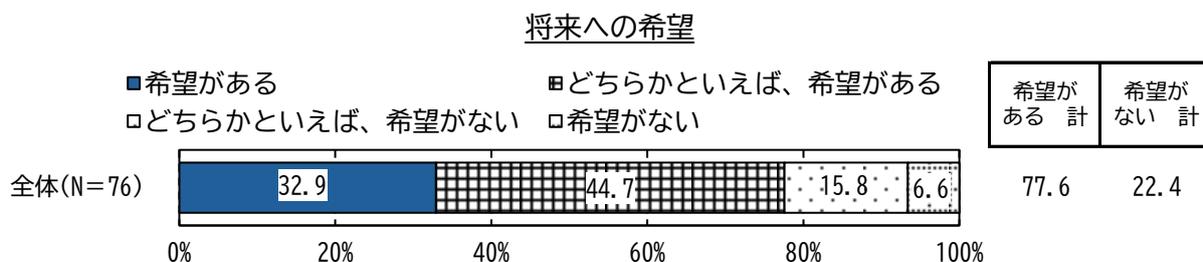
8. 将来について

(1) 将来への希望

① 将来に対する明るい希望の有無

自分の将来に対する明るい希望の有無について、「希望がある」(32.9%)と「どちらかといえば、希望がある」(44.7%)を合わせた『希望がある』(77.6%)割合が7割以上を占めています。

一方、「どちらかといえば、希望がない」(15.8%)と「希望がない」(6.6%)を合わせた『希望がない』割合は22.4%となっています。



② 将来への不安内容

自分の将来に希望がないと回答した人は17件となっており、将来への不安内容について、「収入・生活費」(11件)が最も多くなっています。

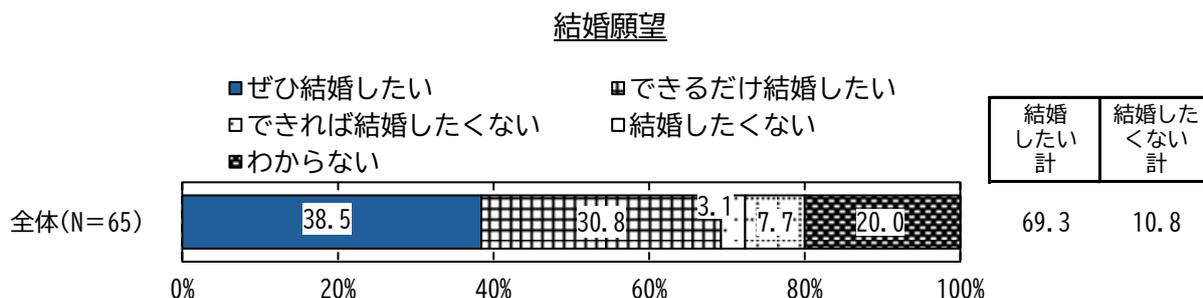
将来への不安 (複数回答)

調査数	収入・生活費	自分の健康	就職	社会情勢・不況	進学	仕事	家族の生活	結婚	孤独・孤立	勉強	生きがい	友だちなどの人間関係	なんとなく	その他	無回答
全体	17	11	6	5	4	3	3	3	3	2	2	2	5	-	1

(2) 結婚願望

結婚願望について、「ぜひ結婚したい」(38.5%)と「できれば結婚したい」(30.8%)を合わせた『結婚したい』(69.3%)割合は約7割となっています。

一方、「できれば結婚したくない」(3.1%)と「結婚したくない」(7.7%)を合わせた『結婚したくない』(10.8%)割合は約1割となっています。

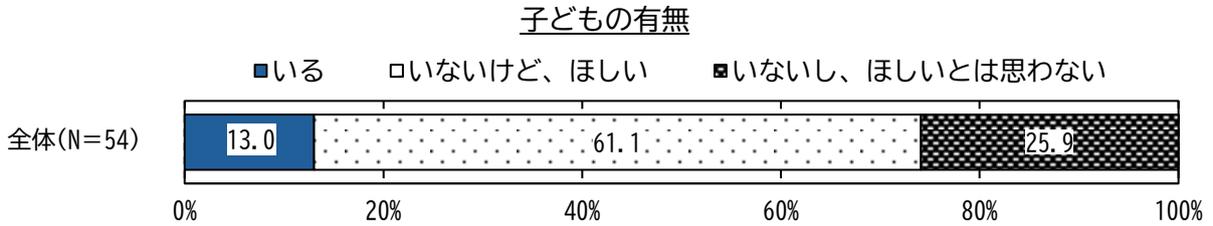


(3) 子どもについて

①子どもの有無

子どもの有無について、子どもが「いる」人の割合は13.0%となっています。

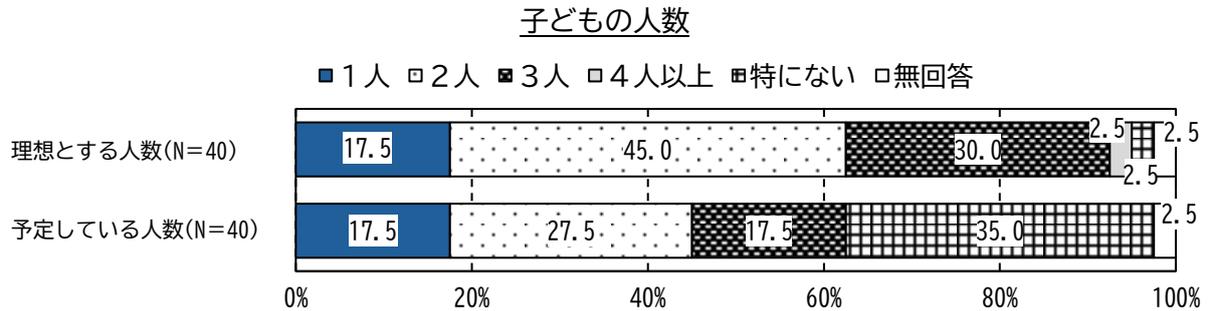
子どもが「いないけど、ほしい」人の割合は61.1%となっています。一方で、「いないし、ほしいとは思わない」人の割合は25.9%となっています。



②子どもの人数

子どもがいる・いないけどほしい人の理想とする子どもの人数について、「2人」(45.0%)が最も多く、次いで、「3人」(30.0%)、「1人」(17.5%)の順となっています。

一方で、予定している子どもの人数については、「特にない」(35.0%)が最も多く、3割以上となっています。次いで、「2人」(27.5%)、「1人」と「3人」(ともに17.5%)の順となっています。



③子どもがほしいとは思わない理由

子どもがほしいとは思わないと回答した人は14件となっており、理由について、「自分のやりたいことができなくなるから」(7件)が最も多くなっています。

子どもがほしいとは思わない理由 (3つまで回答)

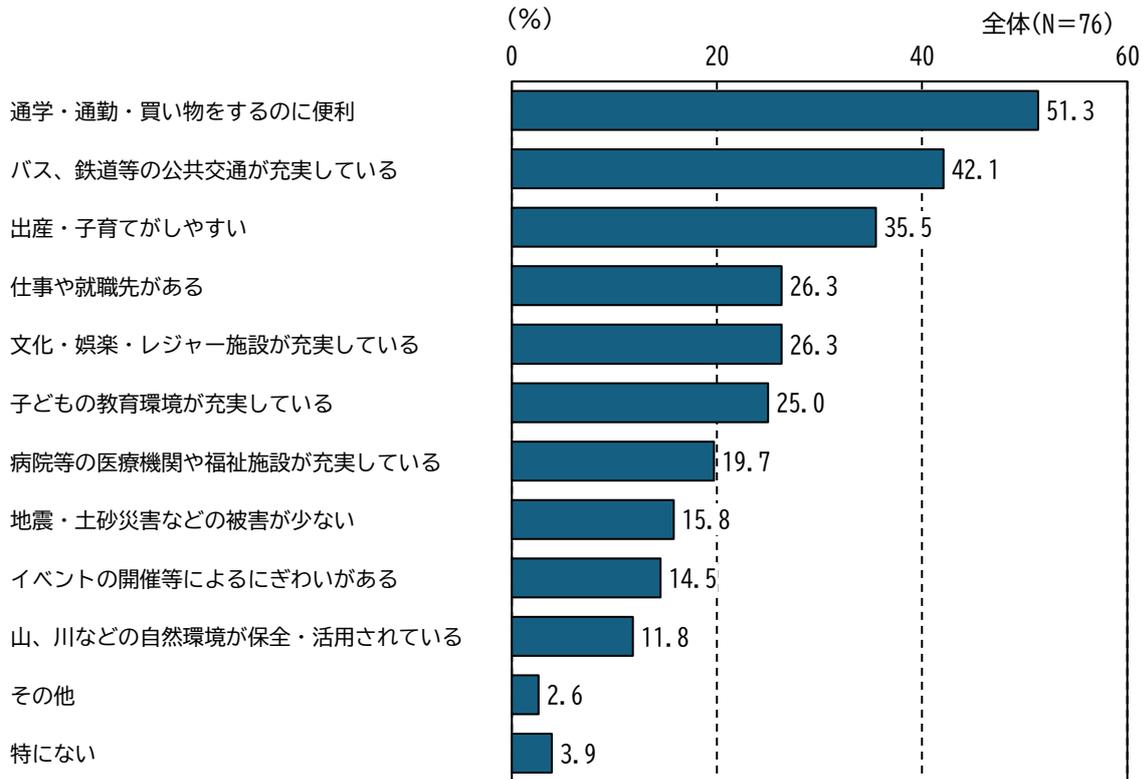
調査数	自分のやりたいことができなくなるから	子育ての精神的な負担が大きいため	子育てにお金がかかるから	収入に不安があるから	だから、子どもの将来が不安	社会がどうなるかわからない	教育に不安があるから	子育ての身体的な負担が大きいため	仕事ができない、続けにくいから	配偶者やパートナーが協力してくれないと思うから	住まいが狭いから	健康上の理由で無理だから	その他
全体	14	7	6	5	4	4	3	2	1	-	-	-	1

9. 町の取組について

(1) 鞍手町で暮らし続けるために特に整える必要があると思う環境

鞍手町で暮らし続けるために特に整える必要があると思う環境について、「通学・通勤・買い物をするのに便利」(51.3%)が最も多く、次いで、「バス、鉄道等の公共交通が充実している」(42.1%)、「出産・子育てがしやすい」(35.5%)の順となっています。

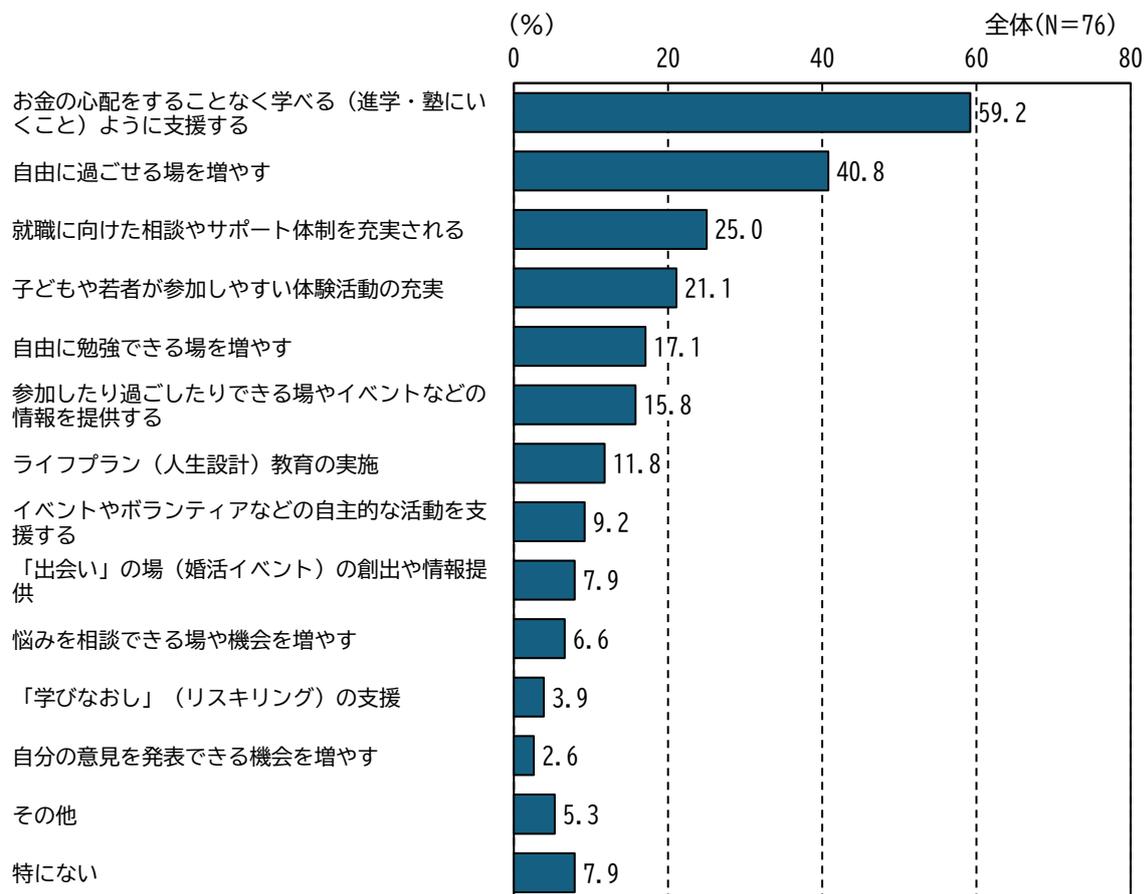
鞍手町で暮らし続けるために特に整える必要があると思う環境（3つまで回答）



(2) これから若者の生活がより良いものになるために鞍手町に必要な取組

これから若者の生活がより良いものになるために鞍手町に必要な取組について、「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行くこと）ように支援する」（59.2%）が最も多く、次いで、「自由に過ごせる場を増やす」（40.8%）、「就職に向けた相談やサポート体制を充実される」（25.0%）の順となっています。

これから若者の生活がより良いものになるために鞍手町に必要な取組



IV. 自由回答

IV. 自由回答

様々なご意見が寄せられました。なお、記入された内容については、誤字・脱字の修正以外、原文のまま掲載しています。

1. 金銭・経済面について

意見
健康保険料、厚生年金、所得税など税金による控除額が多いため、父に生活を支えてもらっている（電気ガス、水道、光熱費、住居費など）一人暮らしができない。→金銭的余裕がないので配偶者を探す余裕がない。将来的には結婚を希望しています。
子育てで支援金や家を建てる時の補助金の増額をお願いします。宮若市などは新婚補助がつかます。
住民税が高すぎる。
鞍手町は医療助成が手厚く非常に助かっています。いつもありがとうございます。

2. 子育てについて

意見
現在、妊娠中で、子育てだけでなく教育や生き方に不安があるけど、なんとか支援を受けながら生きていきたいです。子どもにも体験や体感などたくさんの経験をさせたいのもあるけど、時と場合によって異なることも多いかもしれないけど、多くの支援を頂きたいと思っています。保育園や幼稚園の拡大、周りの理解も経済的不安はどのご家庭もあると思いますが、私のように病気があるがゆえにできないこともあるので、子どものことを一番に考えた上での選択をしたので、できるだけ子育ての支援に対しては声をかけていただくと助かります。
鞍手町にも若者が子育てしやすい環境をつくって頂きたいです。
最近の子どもはスマートフォンを小さい頃から持っているという話を聞いて、ずっとスマホを見ながら家でゴロゴロしていたら体力が低下するし、精神的に健康ではなくなるかもしれないと思った。昔のように思いっきり遊ぶような機会をつくると思う。
新庁舎の隣に公園があるのは素晴らしい。南小地域の子ども達がそこを利用してくれれば、保護者も安心だと思います。

3. その他

意見
休暇、出合いの場がない。
地域の祭りにも子どもの参加者が減っていて、存続が今後困難になるかもしれない。主に地域の祭りを主導している方が年配の方ばかりなので、どこかの世代で途切れるかもしれない。
嫌なことがあるとすぐに死にたいと、悪い方に考えてしまう人が多くなっていると思います。そのため、より相談に乗る場を設けた方が、暮らしやすい町になるのではないのでしょうか。
年配の人の理不尽な注意に疑問を持っていたら、余計に怒鳴られること。
もっと遊ぶ場所を増やしてほしいです。
今住んでいる鞍手町は夜中にバイクの音がうるさかったり、車間距離をもの凄く詰められたり、横断歩道を渡ろうとする人がいても停止しなかったり、特に交通の面においてマナーが悪く感じます。それはそれで、若者だけの問題とひと括りにしてしまうのは違うと思いますが、今の若者はSNSが身近にあって、いじめ・マウントの取り合い・満たされない承認欲求・自信のなさの渦から抜け出せなくなっていると思います。強盗や殺人など、最近増えてきた凶悪な事件は若者が逮捕されていることが多いです。それらの人々には、これまでの人生に深い傷を負った経験が少なからずあると思います。個々の家庭環境や金銭的な問題、複雑な問題に向き合うのは時間も労力もかかることだと思いますが、その環境の改善が急務ではないかと思います。心が育たなければ自分中心の世界になり、他人への思いやりも育ちません。みんなの心が豊かになれば自然と他人にやさしくなり、そのやさしさが連鎖してより豊かな町へと発展していくのではないのでしょうか。
私は鞍手町をより良くすることに興味があります。都合もありますが、そのような子どもは多くはなくなるとも思うので、彼らや私達が仲間を増やせるような、つながれるようなイベントがあると嬉しいと思います。

意見

・通勤の際に歩いて通学する小学生をよく見かけますが、歩道に草がたくさん生えていたり、道路がでこぼこしているのを見て、もっときれいに気持ち良く通学できるようになったらいいなと感じます。・タブレットや携帯電話などの普及が広がり、SNSやインターネット上で危険な情報を得たり、いじめや誹謗中傷がなくなればいいなと思います。

レジャー施設がもっとあると良い。交通機関の充実。

最近猪の徘徊が酷く、子ども1人で犬の散歩がしづらいです。森林伐採の影響だと周りが言いますが、実際のところ生活の利便性を取ると仕方がないことだとは思いますが、何卒よろしくをお願いします。

令和6年度
鞍手町子ども・若者の意識と生活に関するアンケート報告書

令和7年3月発行

発行：鞍手町 健康こども課 子育て支援係
〒807-1392 福岡県鞍手郡鞍手町大字小牧 2080 番地 2

TEL：0949-42-2111

FAX：0949-42-5693